

## 挾間史談会史跡研修

坂本勝信

平成三十年度は日田地区、令和元年度は大分地区へ、由布市のマイクロバスで史跡研修を実施した。また令和元年度の会の研究課題とした挾間町篠原の大将軍神社を中心とした小倉山の現地研修を実施した。以上三件についてその概要について報告します。

### (一) 日田地区研修

平成三十年十一月二十六日(月)午前八時挾間庁舎を出発、由布院から高速道路を使って日田に向かう。参加者十七名。

午前中は大原八幡で大鷹や日田ドンの相撲節絵など伝説の絵馬をはじめ、社内を見学した。

続いて祇園会館で、壮大な山車を見学し、次に三隈川のほとり亀山公園で日隈城跡(日隈神社)を見学後川のほとりを散策した。

午後は咸宜園、学芸員さんから一時間余説明を受け、さらに研修センターに移動し、ビデオや年次表で淡



咸宜園



大原八幡

窓思想を研修。

### (二) 大分地区

令和元年十一月二十二日(金)午前九時挾間庁舎を出発、参加者十二名。午前中は県立埋蔵文化財センターで開催中の「宗麟とキリスト教」を研修。職員さんの熱のこもったガイドに二時間堪能。

午後はまず大分市里の亀塚古墳及び海部古墳資料館を館長さんの案内で研修した。

次に椎迫の古宮古墳を研修。特に古宮古墳は鍵を開けて内部の見学が叶い、国指定の時期や埋葬者についての質問も飛び出す有意義な研修でした。

### (三) 挾間町小倉山

令和元年五月十一日(土)現地集合で、大将軍神社をもう一度確認したあと、山上の不動明王やNTTのアンテナ周辺を見てまわる。あしな石周辺はあしなか公園としてきれいに整備されていた。あしな石に全員登り、時松集落方向や庄内町方向を見下ろしながらしばし歴史談義。研修参加者八名。



古宮古墳



亀塚古墳